

- (1)目的 農業で自立を目指す就農希望者を受け入れて、農業技術や経営手法等の研修を実施し、新規就農者育成を行い、産地の維持を図る。
- (2)事業主体 JA宮崎中央の委託を受けて会社が受入農家となり技術研修を行う。
- (3)研修生募集要領
- | | |
|-------|--|
| 研修条件 | 農業に対する固い意志と意欲がある新規就農希望者や農業後継者で研修終了後は宮崎市または国富町に居住し、就農できる者 |
| 年齢 | 18歳から概ね50歳まで |
| 研修期間 | 8月1日～7月31日 |
| 研修方法 | 別途カリキュラムに基づく |
| 研修作物 | JA宮崎中央の重点作物(きゅうり) |
| 募集人員 | 10名程度 |
| 募集期間 | 2月1日～4月30日(R3年度募集) |
| 研修助成金 | 国による助成金制度:農業次世代人材投資資金(旧青年就農給付金)準備型 150万円/年。
上記の要件を満たさない場合は、研修生一月一人当たり、行政5万円、JA宮崎中央2万円、JA宮崎中央会3万円 合計10万円の助成を会社が受け、研修生に支払う。 |
- (4)募集方法 行政・JAの広報誌等
- (5)研修生の決定 申込書受付後、書類選考、面接にて合格した者を決定。(面接官:JA宮崎中央、宮崎県、宮崎市、国富町、ジェイエイファームみやざき中央)
- (6)受入先助成 宮崎市、国富町:技術指導者の労務費相当分1/2程度会社支援
JA宮崎中央会研修受入先助成:3万円/月
- (7)研修圃場について 敷地面積225a ハウス面積163a(14棟) 専属ハウスでの研修
技術指導顧問(JA宮崎中央指導員OB)1名、担当従業員1名配属
- (8)座学支援 宮崎県普及センター、JA宮崎経済連、行政より支援

農作業安全講習会、認定就農者説明会、農薬肥料取扱講習会、農業用ハウス構造講習会、各種補助事業説明会
- (9)独立支援 農地・ハウス・機械等の斡旋支援・・・農地中間管理事業(JA宮崎中央専属職員1名)

各種補助事業の情報提供、活用に関する指導・・・行政・JA宮崎中央

農地・ハウス・機械等の取得・リースに対する行政による補助金支援

宮崎中央地域農業再生協議会担い手部会(JA宮崎中央営農部、金融部、経営支援室、普及センター、各市町、ジェイエイファームみやざき中央)での支援
- (10)独立後支援 JA生産部会、JA青年部、消防団等地域に溶け込む為の指導

JA営農指導員による営農指導及び経営指導の重点指導農家の位置づけ・・・JA職員による巡回強化

令和元年度 新規就農研修事業 研修実績（令和元年8月1日～2年7月31日）

（有）ジェイエイファームみやざき中央

時期		きゅうり		座学・経営管理研修 （普及センター主催）	その他研修
		摘芯	つる下ろし		
8月	上	土作り 陽熱処理	土作り 陽熱処理	8/1 新規就農者制度	7/31 新規就農研修事業 開講式
	中	定植準備	定植準備	8/8 就農計画作成支援会 農地制度	8/1 オリエンテーション
	下	ビニール張り		8/22 ハウスの構造について	
9月	上		ビニール張り	8/29 農業経営基礎研修	8/30 農業委員会総会にて農業委員との顔合わせ （空き農地、空きハウスの情報提供）
	中	定植・管理	定植・管理	9/12 農作業安全講習	
	下				9/26 JA宮崎中央会主催 新規就農研修生に係る研修会並びに 意見交換会（県域）
10月	上				
	中				10/11 定例会（JA営農指導員との顔合わせ）
	下	管理・収穫	管理・収穫		
11月	上				
	中				11/26 定例会（JAきゅうり部会の出荷形態について研修）
	下				
12月	上				
	中				
	下				
1月	上				
	中				1/21 定例会 先進農家講演（福田誠氏による講演）
	下				
2月	上				
	中	植替え		個別面談（就農計画作成支援）	
	下				
3月	上				
	中				
	下				
4月	上				
	中				4/27 農業経営に伴う労働力確保についての研修
	下				
5月	上				
	中				5/21 宮崎市単独補助事業説明会
	下				
6月	上			6/11 農業経営Ⅰ	
	中			6/18 農業経営Ⅱ	6/19 JA宮崎中央事業内容についての研修会
	下			6/25 農業経営Ⅲ	6月～7月 年間栽培実績、最終収支報告書の作成・検討
7月	上	片付け	片付け	7/7 新規就農研修事業卒業生との意見交換会	
	中	ビニール剥ぎ	ビニール剥ぎ	7/9 GAP、農作業安全研修	
	下	陽熱処理	陽熱処理	7/14 農業情報の活用	7/13 さいたま原種育成会による品種特性についての研修会 7/27 新規就農研修事業 閉講式

令和元年度 新規就農研修事業



開講式



座学



接ぎ木研修



トラクター研修



きゅうり定植



収穫



普及センター学習会



農業委員会総会



JA宮崎中央会主催意見交換会



JA事業学習会

新規就農研修事業 研修修了者の状況(令和3年4月現在)

1. これまでに受け入れた研修生(人)

男	女	計	
138	6	144	令和2年度研修生(15期生)10名を含む
95.8%	4.2%	100.0%	

2. 年度別研修者数、就農者数(人)

年度	研修者数	内、就農者数	就農率
H18年度	5	4	80.0%
H19年度	8	8	100.0%
H20年度	7	6	85.7%
H21年度	11	9	81.8%
H22年度	10	10	100.0%
H23年度	9	9	100.0%
H24年度	10	8	80.0%
H25年度	11	11	100.0%
H26年度	12	12	100.0%
H27年度	10	10	100.0%
H28年度	6	6	100.0%
H29年度	14	13	92.9%
H30年度	12	10	83.3%
R1年度	9	9	100.0%
計	134	125	93.3%
R2年度	10	現在研修中	
計	144		

3. 研修修了後の就農状況(人)

独立就農	法人就農	就農断念	計
125	3	6	134
93.3%	2.2%	4.5%	100.0%

4. 独立就農者の現在の就農状況(人)

営農継続	離農	計
118	7	125
94.4%	5.6%	100.0%

5. 独立就農者の現在の栽培品目(人)

胡瓜	ミニトマト	ピーマン	スナップエンドウ	イチゴ	露地野菜	計
85	26	2	1	3	1	118
72.0%	22.0%	1.7%	0.8%	2.5%	0.8%	100.0%

6. 生産部会に占める研修修了者の割合(人)

	胡瓜	ミニトマト
部会生産者	592	100
うち研修修了者	85	26
割合	14.4%	26.0%

新規就農者 入植団地の概要

1. 目的

地域農業振興を図る為、施設及び付帯施設を設置、貸付することにより、初期投資の負担軽減を図り、新規就農者の育成及び経営基盤の確立を図る事を目的とする。

入植者は研修ではなく入植料(ハウス賃借料)を支払い、入植者自身の農業経営を行う。

2. 事業主体

JA宮崎中央

3. 運営

(有)ジェイエイファームみやざき中央

4. 施設概要

団地名	田野第1	高岡	田野第2	合計
所在	宮崎市 田野町 七野	宮崎市 高岡町 的野	宮崎市 田野町 松ノ木原	—
農地面積	21,305㎡	17,117㎡	15,509㎡	53,931㎡
施設面積	12,348㎡	11,346㎡	9,828㎡	33,522㎡
倉庫面積	178㎡	178㎡	165㎡	521㎡
棟数	1,752㎡×5棟 1,794㎡×2棟	2,847㎡×3棟 2,805㎡×1棟	1,932㎡×3棟 2,016㎡×2棟	16棟
設備	加温機 自動開閉機 循環扇 温灌水装置	加温機 自動開閉機 循環扇	加温機 自動開閉機 循環扇 温灌水装置	—
完成年	H26	H27	H28	—

5. 実施要領

入植者の要件

施設利用を希望する入植者は、事前に申込書を提出し、関係部会等協議の後、関係機関等による審査会に付議する。

入植者は、農業経営に意欲があり、既存部会組織に加入し、JA事業全般に理解のある者とする。

賃借期間

原則として8月から翌年7月までの1年間とし、3年まで継続可能

賃借料

約370千円/1,000㎡/年間(税抜金額)



研修過程及び就農後の支援

資料2

